

<2015 年度事業報告>

I. 事業の概要

公益社団法人日本ガスタービン学会は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律により認定された公益目的事業（事業番号：公1）「ガスタービン及びエネルギー関連技術の発展とその普及・振興を目的とする事業」を行う。2015 年度（2015 年 3 月 1 日～2016 年 2 月 29 日）は下記を実施した。

(1) 研究発表会及び学術講演会等の開催（定款第 4 条 1 号）

時 期	名 称	内 容	場 所	参加者数	演題数
2015/4/21	特別講演会	Advances in the Application of Geared Turbofan Engines for Commercial Aircraft	三菱重工横浜ビル	65 名	1
2015/7/9-10	第 26 回ガスタービン教育シンポジウム	若手技術者および学生の教育（講義および施設見学）	本田技研工業(株)和光ビル	69 名	7
2015/9/8	ガスタービン市民フォーラム	「進化を続けるジェットエンジン-技術開発の最前線-」	国立米子工業高等専門学校	121 名	1
2015/9/9-11	第 43 回日本ガスタービン学会 定期講演会・見学会	会員の研究・開発成果の発表, 定期講演会講演論文集発行(150 部)	米子コンベンションセンター「BIGSHIP」	150 名	61
2015/10/16	第 1 回見学会	設備見学および技術懇談会	国立研究開発法人産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所	16 名	—
2015/11/15	ガスタービン市民フォーラム	「ガスタービンとジェットエンジンの中身と仕組み」	虎ノ門ヒルズフォーラム	44 名	1
2015/11/15-20	International Gas Turbine Congress 2015 Tokyo	講演発表会, 製品・技術の展示会および見学会	虎ノ門ヒルズフォーラム	569 名	243
2016/1/21-22	第 44 回ガスタービンセミナー	「ガスタービンの最新技術と新しい航空機に向けた推進技術の動向」, セミナー資料集発行(130 部)	帝京大学板橋キャンパス	99 名	11
2016/2/10	第 2 回見学会	設備見学および技術懇談会	(株)JAL エンジニアリング エンジン整備センター/成田航空機整備センター	28 名	—

(2) 学会誌及び学術書の刊行（定款第 4 条 2 号）

図 書 名	発行年月日	発行部数
日本ガスタービン学会誌	2015/3/20, 5/20, 7/17, 9/18, 11/20, 2016/1/20	2, 370
International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems	2015/7	Web 掲載

(3) 内外関連学協会との連携並びに協力（定款第 4 条 3 号）

2015 年度に継続して共催・協賛した行事は 34 件であり、新規のものは下記の 3 件である。

種類	開催時期	名 称	場 所	関連団体名
協賛	2015/5/19-22	2015 IERE-CRIEPI Tokyo Workshop "Advanced Electric Power Management - Thermal Power Generation against Huge Impact by Renewable Energy Penetration-	東京電力 電気の史 料館	電力研究国際協力機 構 (IERE)・電力中央 研究所
協賛	2015/11/13-15	第 1 回日本機械学会イノベーション 講演会 (iJSME2015)	広島大学 東広島キ ャンパス	日本機械学会
協賛	2015/11/29-12/2	第 5 回世界工学会議 (WECC2015)	国立京都国際会館	日本工学会

(4) ガスタービン及びエネルギー関連技術に関する研究、調査 (定款第 4 条 4 号)

名 称	実施期間	調査内容
「国産ガスタービン・過 給機生産統計 (2019 年 版)」の資料収集・発行	毎年度継続して実施中	我国におけるガスタービン及び過給機の生産に関する資料 を収集し、纏めると共に、結果を学会誌に掲載した。
ガスタービンを考える 会の開催	毎年度継続して実施中	産業用および航空用ガスタービン技術の方向性や戦略につ いて調査検討し、学会版技術ロードマップの改訂、プロジ ェクト案の策定、実現方策・体制案の検討などを行った。
ガスタービン研究開発 プロジェクトに関する 調査研究	2014 年度から継続して実 施中	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NE DO) で採択された産業用ガスタービン研究開発プロジェ クトについて、NE DO の研究開発推進委員会と協力して 推進し、定期講演会、ガスタービンセミナーで活動を紹介 した。
産官学連携に関する調 査研究	毎年度継続して実施中	技術開発における産官学連携の現状や課題を調査し、有機 的連携やプロジェクト実現の方策を検討した。また、地方 企業との懇談会を試行し、新たな産官学連携のスキームを 検討した。

(5) 研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第 4 条 5 号)

ガスタービン及びエネルギー関連技術に関連した研究及び技術開発を奨励するため、2 年に一度、優れた研究、技術
に対して、ガスタービン学会賞 (論文賞、技術賞、奨励賞) を授与している。2015 年度は、学会賞審査の年度にあたる
ため、学会賞審査委員会において、学会賞の審査を行なった。その結果、論文賞 2 件、技術賞 3 件、奨励賞 2 件を選出
した。2015 年度通常総会において学会賞の授与を行う。また、若手人材育成のため、第 43 回日本ガスタービン学会定
期講演会において講演発表する学生の交通費の一部助成 (10 名) を実施し、第 43 回日本ガスタービン学会定期講演会
において優れた研究発表を行った学生 (1 名) を表彰 (日本ガスタービン学会学生優秀講演賞) した。

名 称	受賞内容 ・ 受賞者
2015 年度日本ガスター ビン学会賞 [論文賞]	「Free-Stream Turbulence Effects on Leading Edge Film Cooling」 船崎健一(岩手大学), 川端浩和(岩手大学), 大北洋治((株) I H I) (JGPP Vol. 4 No. 1 2012 年 2 月)
2015 年度日本ガスター ビン学会賞 [論文賞]	「2 段復水ラジアル蒸気タービンの開発」 中野晋 ((株) 日立製作所), 坪内邦良(元(株) 日立製作所), 林一堯 ((株) 日立エ ンジニアリング・アンド・サービス), 白岩弘行((株) 日立エンジニアリング・ア ンド・サービス), 山田博行 ((株) 日立エンジニアリング・アンド・サービス) (日本ガスタービン学会誌 39 巻 6 号 2011 年 11 月)
2015 年度日本ガスター ビン学会賞 [技術賞]	「小型ビジネスジェット機用ターボファンエンジンの開発」 野田悦生, 田中久人, 梶浦幸生, 佐々木亨, 杉谷幸伸 ((株) 本田技術研究所)
2015 年度日本ガスター ビン学会賞 [技術賞]	「XTS2 ヘリコプター搭載用エンジンの研究」 防衛装備庁 航空装備研究所, 三菱重工業(株) 防衛・宇宙ドメイン エンジン・機器部
2015 年度日本ガスター ビン学会賞 [技術賞]	「小型バイナリー発電装置の開発」 高橋 俊雄, 脇阪 裕寿, 町田 晃一 ((株) I H I)

2015 年度日本ガスタービン学会賞 [奨励賞]	福本 敦 (早稲田大学) 対象論文: レーザー誘起プラズマ分光分析 (LIPS) による高圧燃焼ガスの局所当量比計測 (日本ガスタービン学会誌 42 巻 2 号 2014 年 3 月)
2015 年度日本ガスタービン学会賞 [奨励賞]	佐久間 康典 (東京大学) 対象論文: 周方向単一溝型ケーシングトリートメントが遷音速圧縮機に及ぼす影響 第 2 報: 翼端流れ場の変化と失速抑制効果のメカニズム (日本ガスタービン学会誌 42 巻 3 号 2014 年 5 月)
2015 年度日本ガスタービン学生優秀講演賞	山本 姫子 (早稲田大学) 「弱旋回燃焼器における燃焼振動の音響モード解析」

II. 運営組織の概要

1. 役員・会員・職員

(1) 役員 (理事, 監事)

2016 年 2 月 29 日現在

役名	氏名	常勤・非常勤	就任年月日	手当	担当業務	所属
会長 代表理事	田沼 唯士	非常勤	2014/4/18	なし	業務の総括	帝京大学
副会長 代表理事	久山 利之	非常勤	2015/4/21	なし	業務の総括	川崎重工業(株)
執行理事	鈴木 健	非常勤	2014/4/18	なし	法人管理 総務	(株) I H I
執行理事	安田 聡	非常勤	2015/4/21	なし	法人管理 企画	三菱日立パワーシステムズ (株)
執行理事	伊東 正雄	非常勤	2014/4/18	なし	法人管理 財務	(株) 東芝
執行理事	木下 康裕	非常勤	2015/4/21	なし	法人管理 ガバナンス コンプライアンス	川崎重工業(株)
執行理事	佐藤 哲也	非常勤	2014/4/18	なし	公 1 (1) 集会行事	早稲田大学
執行理事	細川 哲也	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (1) 集会行事	(株) J A L エンジニアリング
執行理事	藤井 智晴	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (1) 技術普及	(一財) 電力中央研究所
執行理事	山本 誠	非常勤	2014/4/18	なし	公 1 (1) 国際会議	東京理科大学
執行理事	吉田 英生	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (2) 広報	京都大学
執行理事	小森 豊明	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (2) 調査研究	三菱重工業(株)
執行理事	壹岐 典彦	非常勤	2014/4/18	なし	公 1 (2) 学会誌編集	国立研究開発法人産業技術総合 研究所
執行理事	姫野 武洋	非常勤	2014/4/18	なし	公 1 (2) 論文	東京大学
執行理事	西澤 敏雄	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (3) 表彰・助成 公 1 (1) 学術講演会	国立研究開発法人宇宙航空研究 開発機構
理事	輪嶋 善彦	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (1)	(株) 本田技術研究所
理事	野崎 理	非常勤	2015/4/21	なし	公 1 (2)	高知工科大学

理事	渡邊 啓悦	非常勤	2014/4/18	なし	公1(2)	(株)荏原製作所
理事	松崎 裕之	非常勤	2014/4/18	なし	公1(2)	酒田共同火力発電(株)
理事	原田 広史	非常勤	2015/4/21	なし	公1(2)	国立研究開発法人物質・材料研究機構
監事	坂田 公夫	非常勤	2015/4/21	なし	業務監査	SKYエアロスペース研究所
監事	渡辺 康之	非常勤	2015/4/21	なし	業務監査	元(株)IHI

(2) 会員

会員種別	会員数		増減数
	本年度末 2016年2月29日現在	昨年度末 2015年2月28日現在	
正会員	2016名	2050名	△34名
学生会員	83名	99名	△16名
名誉会員	49名	50名	△1名
終身会員	43名	38名	5名
賛助会員	105社(139口)	103社(137口)	2社(2口)

*正会員増減数には、定款第11条及び会員に関する規程第15条による「資格喪失者」3名減を含む。

(3) 職員

2016年2月29日現在

職務	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局員	平岡 克英	2011年3月1日(嘱託)	事務局の総括	事務局長
事務局員	中村 優美	2002年4月25日(嘱託) 2007年7月2日(常勤)	事務局事務一般	事務局次長
事務局員	山本 由香	2012年11月14日(アルバイト) 2014年11月14日(嘱託)	事務局事務一般	
事務局員	河野 美雪	2015年9月16日(アルバイト)	事務局事務一般	

2. 役員会等

(1) 理事会

開催月日	議事事項	会議の結果
2015/3/18	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 他学協会からの協賛依頼行事の件 4) 2014年度事業報告・附属明細書の件 5) 2014年度計算書類・財産目録の件 6) 2015年度事業計画および収支予算書(改訂)の件 7) 次年度役員候補者案の件 8) 委員会構成案の件 9) 2014年度通常総会の件 10) 代表理事・執行理事報告 11) 2014年度監事監査結果の件	全会一致で承認/確認 全会一致で承認 全会一致で承認/了承 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承

14) 企画委員会報告	了承
15) 国際委員会報告	了承
16) 集会行事委員会報告	了承
17) 技術普及委員会報告	了承
18) 学会誌編集委員会報告	了承
19) 調査研究委員会報告	了承
20) 事務局報告	了承
21) 2015年度第7回理事会議事録	全会一致で承認

(2) 総会

開催月日	議事事項	会議の結果
2015/4/21	公益社団法人 日本ガスタービン学会 2014年度通常総会 第1号議案： 計算書類および財産目録の件 第2号議案： 理事選任の件 第3号議案： 補欠理事選任の件 第4号議案： 監事選任の件 第5号議案： 定款一部変更の件 第6号議案： 名誉会員候補者の件 第7号議案： 終身会員候補者の件	賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成2/3以上の多数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認

3. 各委員会の活動

(1) 倫理規定委員会

委員長 木下 康裕 他5名 開催2回

倫理規程に関する事項を担当した。2015年度において本学会の規定する倫理規定に違反する事象が発生しなかったことを確認した。

(2) 自己点検委員会

委員長 木下 康裕 他5名 開催2回

自己点検に関する事項を担当した。日本ガスタービン学会が主催した事業について、自己点検チェックリストに基づいて自己点検を実施し本結果を確認した。

(3) 運営委員会

委員長 鈴木 健 他11名 開催7回

庶務、会計、渉外、その他学会運営に関する事項を担当した。

(4) アドバイザリー委員会

委員長 佃 嘉章 他42名 開催1回

2014年度および2015年度の活動状況、2014年度決算および2015年度予算、調査研究委員会とNEDO応募課題、IGTC2015の概要と準備状況の各概要説明を受け、議論を行った。

(5) 企画委員会

委員長 安田 聡 他8名 開催3回

規程類作成要領を元に、規程の廃止まで含めた管理方法を規定した規程案を作成した。2014年度に作成した将来構想の体系表に、各理事の意見を反映し、アップデートを行った。若手会員による学会の現状分析、将来の望ましい学会像の検討、実現の方策を提言する将来ビジョン検討委員会（臨時委員会）の設立を提案した。ガスタービンに関わる女性技術者による継続的ネットワーク作りの場として、女性参画推進委員会（臨時委員会）の設立を提案した。

(6) 国際委員会

委員長 仲俣 千由紀 他 1 1 名 開催 4 回

6月にモントリオール（カナダ）で開催された ASME Turbo Expo 2015 に展示ブースを出展した。IAC ミーティングを ASME Turbo Expo 2015 会期中と IGTC2015 の会期中に各 1 回、計 2 回開催した。IGTC2015 では、初のアンケート調査を実施した。IAC 委員につき見直し検討中であり、次回 IAC ミーティングを新メンバーで実施できるように見直し手続きを進める予定である。

(7) 学術講演会委員会

委員長 西澤 敏雄 他 1 2 名 開催 4 回

第 43 回日本ガスタービン学会定期講演会を米子市の米子コンベンションセンターで開催し、見学会（日立金属安来工場等）を実施した。また、ガスタービン市民フォーラムを米子工業高等専門学校にて開催した。

(8) 集会行事委員会

委員長 佐藤 哲也 他 1 5 名 開催 6 回

若手技術者、研究者を対象とした 2 日間の第 26 回教育シンポジウム（本田技研工業（株）和光ビル）、会員、非会員を対象とした半日の第 1 回見学会（（国研）産業技術総合研究所/福島再生可能エネルギー研究所）並びに第 2 回見学会（（株）JAL エンジニアリング エンジン整備センター/成田航空機整備センター）、会員、非会員を対象とした 2 日間の第 44 回ガスタービンセミナー（テーマは、「ガスタービンの最新技術と新しい航空機に向けた推進技術の動向」、帝京大学板橋キャンパスにて）等の企画・実施・資料集発行を行った。

(9) ガスタービン技術普及委員会

委員長 藤井 智晴 他 1 2 名 開催 5 回（内 E-mail 会議 4 回）

定期講演会と併催するガスタービン市民フォーラムの講師選定、総会後特別講演会の講師選定・依頼を行い、それぞれの行事の担当委員会に答申した。また、International Gas Turbine Congress 2015 Tokyo におけるガスタービン市民フォーラムを企画・実施した。さらに、教科書の改訂に向けて「ガスタービン教科書の編集・改訂・発行要領」を策定するとともに、自己学習システムや電子託販売システム構築など、改訂後の教科書を使用したソフト面での充実・推進などのアクションプランを検討した。

(10) 学会誌編集委員会

委員長 壹岐 典彦 他 2 5 名 開催 6 回

学会誌の企画・編集・発行に関する事項（特集記事の企画・執筆依頼・校正、各号の編集・発行等）を担当した。特集として、2015 年 3 月「資源エネルギーの有効利用と低炭素社会へのガスタービンの取り組み（多様化するガスタービン燃料）」、2015 年 5 月「航空機用ガスタービンの最新動向」、2015 年 7 月「軸受・潤滑システム」、2015 年 9 月「ガスタービンの Improvement / Modification」、2015 年 11 月「ガスタービン関係の数値シミュレーションの最前線（～現状と今後の展望～）」、2016 年 1 月「特集①産業向け最新鋭自家発電用ガスタービン、特集②第 43 回定期講演会（米子）」を企画・編集し、研究・開発・設計技術者からユーザー各社の技術者まで、幅広い読者に関心を持って頂ける内容となるように努めた。また、関連規程類の制定と見直しを行った。

(11) 論文委員会

委員長 寺本 進 他 1 2 名 開催 3 回（内 E-mail 会議 2 回）

学会に投稿された和文及び英文技術論文の査読、電子版英文論文集 International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems（略称 JGPP）の編集・発行を行った。

(12) ガスタービン統計作成委員会

委員長 小森 豊明 他 9 名 開催 2 回（内 E-mail 会議 1 回）

2014 年の国産ガスタービン及び過給機生産に関する統計資料をまとめ、学会誌 Vol. 43 No. 4 に掲載した。

(13) 産官学連携委員会

委員長 渡辺 紀徳 他15名 開催3回

ガスタービン・ジェットエンジンに関する研究開発プログラムの具体化方策や、学会の産官学連携促進活動について検討を行った。ガスタービンを考える会で作成している研究開発プロジェクト案を実現させる方策について審議・助言を行った。前年度に設置した調査研究委員会と連携して、再生可能エネルギー大量導入時の負荷変動に対応する先進ガスタービン技術の研究開発プロジェクトを提案した。プロジェクトは NEDO の先導研究プログラムに採択された。また、富山大学と連携して富山市で地元企業との技術懇談会を試行し、産官学連携の支援策として有効であることを確認した。

(14) 広報委員会

委員長 吉田 英生 他7名 開催5回 (内E-mail 会議5回)

国立情報学研究所(NII)が運営する電子図書館 CiNii のコンテンツ受付が2016年3月31日に終了するとともに、そのまま放置すると全てのアーカイブ記事が一般公開されてしまうことを受け、同サイトに掲載されているアーカイブ記事の取り扱いと今後の記事の取り扱いにつき、運営委員会の基本案に基づいてその詳細を検討した。

(15) 表彰委員会

委員長 久山 利之 他6名 開催3回 (内E-mail 会議3回)

学術講演会委員会と協力して、定期講演会で講演発表する学生の交通費の一部助成を実施し、さらに同委員会と協力の下、学生優秀講演賞の選定と表彰を行った。加えて学会賞審査委員会の委員選出を行った。

(16) 次年度役員候補者等推薦委員会

委員長 久山 利之 他4名 開催4回 (内E-mail 会議3回)

2016年度に就任する理事ならびに各委員会委員長の候補者の人選を進め、理事会へ推薦を行った。

(17) 名誉会員候補者選考委員会

委員長 田沼 唯士 他6名 開催1回

規定に従って名誉会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(18) 終身会員候補者選考委員会

委員長 田沼 唯士 他4名 開催1回

規定に従って終身会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(19) IGTC2015 実行委員会

委員長 渡辺 紀徳 他51名 開催8回 (内全体会議1回)

前年度から引き続き、International Gas Turbine Congress 2015 Tokyo (IGTC2015)の開催準備を進め、予定通り11月15日から20日までの日程で実施した。会議後は実施報告書の発行に向けて作業を進めた。

(20) 情報システム化推進委員会

委員長 村田 章 他7名 開催1回 (内E-mail 会議1回)

前年度で臨時委員会としての役割をほぼ終えたが、今年度にファイル共有サーバー利用要領を作成してから委員会解散を行った。

(21) 調査研究委員会

委員長 壹岐 典彦 他14名 開催9回

産官学連携委員会およびガスタービンを考える会と連携しながら、2014年度に独立行政法人新エネルギー・

産業技術総合開発機構（NEDO）で採択された「再生可能エネルギー大量導入時代の系統安定化対応先進ガスタービン発電設備の研究開発」をNEDOの研究開発推進委員会と協力して推進した。研究開発の進捗状況は定期講演会、ガスタービンセミナーのパネルディスカッション等を通して紹介した。

（22）ACGT2016 実行委員会

委員長 山根 敬 他3名 開催1回

2016年11月にムンバイ（インド）で開催されるACGT2016について、IGTC2015の期間中に、インド、韓国、中国、日本のACGT関係者がミーティングを行い、ACGT2016の運営方針の説明をインド側から受けるとともに、プレナリー講演や会期までのスケジュールなどについて意見交換を行った。

（23）学会賞審査委員会

委員長 本阿弥 眞治 他8名 開催2回

本年度は、学会賞審査の年度にあたる。2016年1月28日に開催された第2回委員会において、学会賞の審査を実施し（技術賞のヒアリングを含む）、論文賞2件、技術賞3件、奨励賞2件の候補を選出した。